

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2000-167155 (P2000-167155A)

【公開日】平成 12 年 6 月 20 日 (2000.6.20)

【出願番号】特願 平 11-99626

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予め定めた複数の図柄が揃うと当たり状態になる所定の図柄合わせゲームを遊技盤面上に打ち出された球が始動入賞口へ入賞したことに基づいて実行する遊技機において、

前記遊技盤面上に配置された複数の始動入賞口と、前記複数の始動入賞口のそれぞれに対応付けて設けた複数の表示手段と、前記表示手段上で前記図柄合わせゲームを実行する画面遊技実行手段と、前記一の表示手段上に表示されている図柄を他の表示手段上に移す図柄移行手段とを備え、

前記画面遊技実行手段は、実行結果となる複数の図柄を順次停止させる前記図柄合わせゲームを、遊技盤面上に打ち出された球が前記いずれかの始動入賞口へ入賞したとき当該球の入賞した始動入賞口に対応付けられている表示手段上で実行するとともに、その実行結果を当該表示手段上で次に図柄合わせゲームを実行するまで継続表示するものであり、

前記図柄移行手段は、前記当たり状態に比して一部の図柄が相違するために外れ状態となった図柄合わせゲームの実行結果を表示している表示手段が存在し、かつ、他の表示手段上に前記一部の図柄と入れ替えることで前記外れ状態を前記当たり状態に移行させ得る特定の図柄が既に表示されているとき、前記他の表示手段上に表示されている前記特定の図柄を前記外れ状態を表示している表示手段のうち前記一部の図柄を表示している箇所に移動して、前記外れ状態を前記当たり状態に移行させるものであることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記図柄移行手段は、所定の移行条件がさらに満足されたときのみ前記特定の図柄を前記外れ状態を表示している表示手段上に移動させることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記図柄移行手段は、前記特定の図柄が前記他の表示手段上の予め定めた箇所に表示されているときのみ当該特定の図柄を前記外れ状態を表示している表示手段上に移動させることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 4】

前記図柄移行手段は、前記特定の図柄が予め定めた図柄であるときにのみ、当該図柄を前記外れ状態を表示している表示手段上に移動させることを特徴とする請求項 1 または 3 記載の遊技機。

【請求項 5】

前記図柄移行手段は、今回実行した図柄合わせゲームの実行結果が外れ状態になったときのみ、前記特定の図柄を前記外れ状態を表示している表示手段上に移動させることを特徴とする請求項 1、3 または 4 記載の遊技機。

【請求項 6】

前記複数の表示手段を、前記遊技盤面に沿って縦に配置し、前記図柄移行手段は、前記外れ状態の出現した表示手段よりも上に配置されている表示手段上に前記特定の図柄が表示されているとき、この図柄を下に移動して前記外れ状態を前記当たり状態に移行させることを特徴とする請求項 1、2、3、4 または 5 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】